

ポートフォリオの見直しについて

「スカイオーシャン・コアラップ（安定型／成長型）」につきまして、以下のとおりポートフォリオの見直しを10月11日を基準日として実施いたしましたのでご報告いたします。

見直しの概要

1 目標資産配分比率の変更 ➡ 図表 1

今後の世界経済は、米中貿易摩擦などのリスク材料はありますが、緩やかに拡大が継続すると想定しています。各国における緩和的な金融政策や景気刺激策が景気を下支えすることで、債券よりも株式への投資が優位な展開が続くと考えております。

こうした市場環境の見通しを踏まえ、相対的な期待リターンが低位となっている**国内債券**と**ヘッジファンド**の配分比率を引き下げ、**国内外の株式**および**リート**の配分比率を引き上げました。

2 投資対象ファンドの新規組み入れ ➡ P. 2・3

① 国内債券

- マニユライフFOFs用 日本債券ストラテジックファンド（適格機関投資家専用）
- FOFs用 日本債券ツイン戦略ファンドS（適格機関投資家専用）

② ヘッジファンド

- FOFs用 コモディティLSアルファ・ファンドS（適格機関投資家専用）
- MA Hedge Fund Strategies Limited

図表 1 資産区分ごとの配分比率の変化

スカイオーシャン・コアラップ [®] （安定型）				スカイオーシャン・コアラップ [®] （成長型）			
		変更前	変更後	変化幅	変更前	変更後	変化幅
株式		22.8%	26.0%	3.2%	34.4%	36.0%	1.6%
国内株式	国内株式	12.1%	14.0%	1.9%	18.2%	19.0%	0.8%
	外国株式	10.7%	12.2%	1.5%	16.0%	17.0%	1.0%
	先進国株式	9.0%	10.2%	1.2%	13.8%	14.5%	0.7%
		1.6%	1.8%	0.2%	2.4%	2.6%	0.1%
債券		34.7%	33.1%	-1.6%	26.6%	25.3%	-1.3%
国内債券	国内債券	26.6%	25.0%	-1.6%	12.3%	11.0%	-1.3%
	外国債券	8.1%	8.1%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%
	先進国債券	7.6%	7.6%	-0.0%	13.5%	13.4%	-0.0%
		0.5%	0.5%	-0.0%	0.9%	0.9%	-0.0%
オルタナティブ		42.5%	40.9%	-1.6%	39.0%	38.7%	-0.3%
国内リート	国内リート	6.0%	7.0%	1.0%	7.0%	7.0%	—
	海外リート等	3.5%	4.5%	1.0%	5.5%	6.5%	1.0%
	コモディティ	8.0%	8.0%	—	8.0%	8.0%	—
ヘッジファンド	うち 金（為替ヘッジあり）	6.0%	6.0%	—	6.0%	6.0%	—
	安定収益追求	23.5%	20.1%	-3.4%	17.4%	16.2%	-1.2%
	イベントリスク対応	1.5%	1.3%	-0.2%	1.1%	1.0%	-0.1%

※ 「安定型」とは元本保証を意味するものではなく、「成長型」と比較して安定的な運用をめざすファンドであることを意味しています。
※ 配分比率は、端数処理の関係で合計値が100%とならない場合があります。また、変化幅は端数処理の関係で数値が異なる場合があります。
※ 目標資産配分比率は2019年10月11日時点のものであり、適宜見直しをおこないます。

スカイオーシャン・コアラップ®（安定型／成長型）

新規組入ファンドのご紹介

国内債券① マニライフFOFs用 日本債券ストラテジックファンド（適格機関投資家専用）

ファンドの
特色

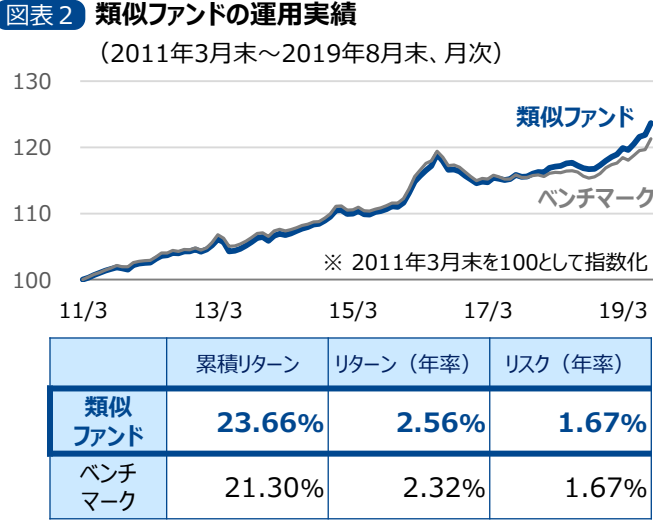
□ ユーロ円債を含む円建て債券に投資します。

□ 主として投資適格債券に投資することによって、中長期的にNOMURA-BPI総合を上回る運用をめざします。

□ 多様な投資対象への分散投資や債券先物取引等の活用により、収益源泉を多様化し、収益獲得の安定性を高めます。

□ 運用は、マニライフ・アセット・マネジメントがおこないます。

※ 資金動向、市況動向、信託財産の規模などによっては、上記の運用ができない場合があります。



※ リスクとリターンは、算出期間の月次騰落率を基に年率換算。
※ 類似ファンドは、「マニライフ日本債券アクティブ・ファンドM（FOFs用）（適格機関投資家専用）」。「ベンチマークは、NOMURA-BPI総合。
※ 類似ファンドの実績は、運用報酬等控除後。
※ 上記は「マニライフ日本債券アクティブ・ファンドM（FOFs用）（適格機関投資家専用）」の運用実績であり、「マニライフFOFs用 日本債券ストラテジックファンド（適格機関投資家専用）」の運用実績ではありません。過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
（出所） マニライフ・アセット・マネジメントのデータをもとにスカイオーシャン・アセットマネジメント作成

国内債券② FOFs用 日本債券ツイン戦略ファンドS（適格機関投資家専用）

ファンドの
特色

□ 事業債等の国内債券に投資をおこなうとともに、国債先物取引および国債にかかる選択権付債券売買取引をおこなうことでNOMURA-BPI総合を上回る投資成果をめざします。

□ ポートフォリオは、クレジット戦略と金利戦略にもとづいてデュレーション等を調整しながら構築します。

□ 運用は、三井住友トラスト・アセットマネジメントがおこないます。

※ 資金動向、市況動向、信託財産の規模などによっては、上記の運用ができない場合があります。

図表3 国内債券資産の投資対象ファンドの配分比率の変化

ファンド名	スカイオーシャン・コアラップ® （安定型）			スカイオーシャン・コアラップ® （成長型）		
	変更前	変更後	変化幅	変更前	変更後	変化幅
FOFs用日本物価連動国債ファンドS（適格機関投資家専用）	2.7%	2.5%	-0.2%	1.2%	1.1%	-0.1%
FOFs用世界ハイインカム入替戦略ファンドS（為替ヘッジあり） （適格機関投資家専用）	10.7%	7.5%	-3.2%	4.9%	3.3%	-1.6%
HYFI Loan Fund-JPY-USDクラス	5.3%	5.0%	-0.3%	2.5%	2.2%	-0.3%
Global Multi Strategy-U.S. Municipal Bond Fund JPY-H Dividend Retail Class	5.3%	2.5%	-2.8%	2.5%	1.1%	-1.4%
FOFs用世界物価連動債ファンドS（為替ヘッジあり） （適格機関投資家専用）	2.7%	2.5%	-0.2%	1.2%	1.1%	-0.1%
マニライフFOFs用日本債券ストラテジックファンド （適格機関投資家専用）	—	2.5%	2.5%	—	1.1%	1.1%
FOFs用日本債券ツイン戦略ファンドS（適格機関投資家専用）	—	2.5%	2.5%	—	1.1%	1.1%
合計	26.6%	25.0%	-1.6%	12.3%	11.0%	-1.3%

＜当資料の取扱いに関する留意事項＞を必ずお読みください。

スカイオーシャン・コアラップ[®]（安定型／成長型）

ヘッジファンド① FOFs用 コモディティLSアルファ・ファンドS（適格機関投資家専用）

ファンドの 特色	□ ブルームバーク商品指数の騰落率とブルームバーク商品フォワード指数の騰落率の差にもとづいて償還価額が決定される円建て債券に投資します。
	□ ブルームバーク商品指数の騰落率とブルームバーク商品フォワード指数の間でロング・ショート戦略にもとづく運用をおこない、特定の市場動向にかかわらず収益の獲得をめざします。
	□ 運用は、三井住友トラスト・アセットマネジメントがおこないます。
	※ 資金動向、市況動向、信託財産の規模などによっては、上記の運用ができない場合があります。

ヘッジファンド② MA Hedge Fund Strategies Limited

ファンドの 特色	□ 世界各国の企業の株式に投資します。
	□ 主として公表された合併や買収案件等において、合併案件の公表買収価格と買収先企業の案件成立前の株価の差異（スプレッド）を捉え、収益を積み上げることをめざして運用をおこないます。
	□ 原則として組入外貨建資産について対円で為替ヘッジをおこない、為替変動リスクの低減をめざします。
	□ 運用は、UBSオコーナー・エルエルシーがおこないます。
※ 資金動向、市況動向、信託財産の規模などによっては、上記の運用ができない場合があります。	

UBSオコーナー・エルエルシーについて

UBSオコーナー・エルエルシーは、UBSグループ*1の資産運用部門であるUBSアセット・マネジメント・グループに属しており、機関投資家や富裕層向けに約4,800億円*2を運用しています。ファンドの運用は、合併買収裁定戦略運用チームがおこないます。

* 1 UBSグループは、世界50カ国以上の主要都市にオフィスを配し、グローバルにプライベート・バンキング、資産運用、投資銀行業務などを展開しています。
* 2 2019年4月1日時点の為替レートでUBSアセット・マネジメントが円換算。

図表4 ヘッジファンド資産の投資対象ファンドの配分比率の変化

ファンド名	スカイオーシャン・コアラップ [®] （安定型）			スカイオーシャン・コアラップ [®] （成長型）		
	変更前	変更後	変化幅	変更前	変更後	変化幅
ヘッジファンド・リターン・ターゲットファンド・為替ヘッジあり（適格機関投資家専用）	3.8%	4.3%	0.5%	2.8%	3.4%	0.7%
BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund - クラスS-JPY	4.8%	3.0%	-1.8%	3.5%	2.4%	-1.1%
FOFs用KIM マルチストラテジーリンクファンドS（適格機関投資家専用）	3.3%	1.3%	-2.0%	2.4%	1.0%	-1.4%
FOFs用ピクテ マルチストラテジー リンクファンドS（適格機関投資家専用）	3.3%	2.8%	-0.5%	2.4%	2.2%	-0.2%
マルチ・ストラテジー・ファンド（適格機関投資家専用）	1.5%	1.3%	-0.2%	1.1%	1.0%	-0.1%
Man Numeric Integrated Alpha Market Neutral – Class A	0.8%	—	-0.8%	0.6%	—	-0.6%
FOFs用米国株式LSファンドS（適格機関投資家専用）	3.8%	3.2%	-0.5%	2.8%	2.6%	-0.2%
ノムラFOFs用日本株ベータヘッジ戦略ファンド（適格機関投資家専用）	2.5%	2.1%	-0.4%	1.9%	1.7%	-0.1%
FOFs用MAN AHL ダイバーシファイドリンクファンドS（適格機関投資家専用）	1.5%	1.3%	-0.2%	1.1%	1.0%	-0.1%
FOFs用コモディティLSアルファ・ファンドS（適格機関投資家専用）	—	1.1%	1.1%	—	0.9%	0.9%
MA Hedge Fund Strategies Limited	—	1.1%	1.1%	—	0.9%	0.9%
合計	25.0%	21.4%	-3.6%	18.5%	17.2%	-1.3%

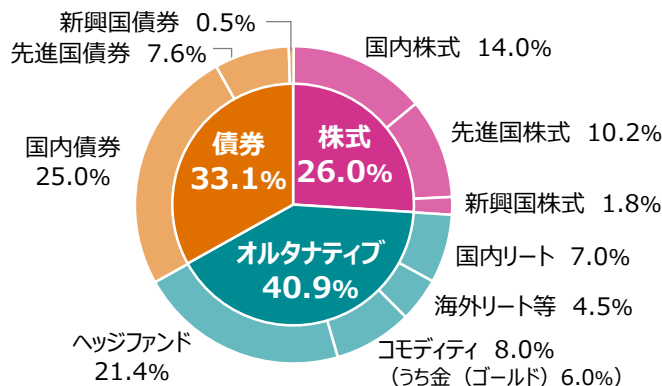
＜当資料の取扱いに関する留意事項＞を必ずお読みください。

スカイオーシャン・コアラップ®（安定型／成長型）

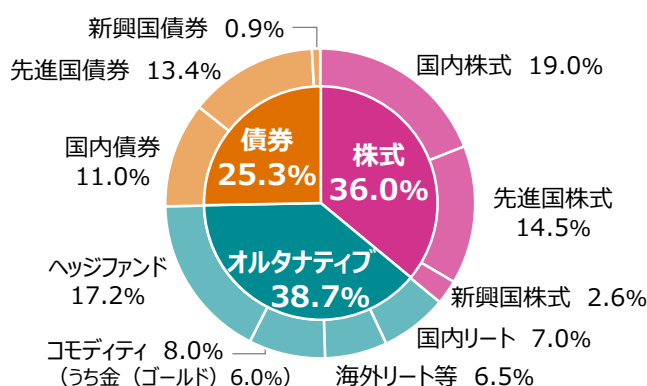
資産および投資対象ファンドの目標配分比率（2019年10月11日現在）

図表5 目標資産配分比率

スカイオーシャン・コアラップ®（安定型）



スカイオーシャン・コアラップ®（成長型）



図表6 投資対象ファンドと配分比率

資産	投資対象ファンド	安定型 配分比率	成長型 配分比率
国内株式	FOFs用JPX日経インデックス400ファンドS（適格機関投資家専用）	4.2%	5.7%
	FOFs用日本株配当ファンドS（適格機関投資家専用）	1.4%	1.9%
	FOFs用国内株式エンハンス運用戦略ファンド（適格機関投資家専用）	3.5%	4.8%
	国内株式アクティブバリューファンド（適格機関投資家専用）	2.1%	2.9%
	FOFs用国内株式インデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）	2.8%	3.8%
先進国株式	FOFs用外国株式インデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）	10.2%	14.5%
新興国株式	Wellington Emerging Markets Research Equity Fund Class J	1.8%	2.6%
国内債券	FOFs用日本物価連動国債ファンドS（適格機関投資家専用）	2.5%	1.1%
	FOFs用世界ハイインカム入替戦略ファンドS（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	7.5%	3.3%
	HYFI Loan Fund-JPY-USDクラス	5.0%	2.2%
	FOFs用世界物価連動債ファンドS 為替ヘッジあり（適格機関投資家専用）	2.5%	1.1%
	Global Multi Strategy - U.S. Municipal Bond Fund JPY-H Dividend Retail Class	2.5%	1.1%
	マニライフFOFs用日本債券ストラテジックファンド（適格機関投資家専用）	2.5%	1.1%
	FOFs用日本債券ツイン戦略ファンドS（適格機関投資家専用）	2.5%	1.1%
先進国債券	FOFs用外国債券インデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）	5.6%	9.9%
	大和住銀/ウエリントン・ワールド・ボンド（適格機関投資家専用）	0.8%	1.4%
	LM・ウエスタン・グローバル債券ファンド（適格機関投資家専用）	1.2%	2.2%
新興国債券	FOFs用新興国債券インデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）	0.5%	0.9%
国内リート	FOFs用J-REITインデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）	7.0%	7.0%
海外リート等	FOFs用グローバルREITインデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）	3.6%	5.2%
	FOFs用MLPインデックスファンド（適格機関投資家専用）	0.9%	1.3%
コモディティ	FOFs用グローバル・コモディティ（米ドル建て）・ファンドS（適格機関投資家専用）	2.0%	2.0%
	FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり（適格機関投資家専用）	6.0%	6.0%
ヘッジファンド （安定収益追求）	ヘッジファンド・リターン・ターゲットファンド・為替ヘッジあり（適格機関投資家専用）	4.3%	3.4%
	BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund - クラスS-JPY	3.0%	2.4%
	FOFs用KIM マルチストラテジーリンクファンドS（適格機関投資家専用）	1.3%	1.0%
	FOFs用ピクテ マルチストラテジー リンクファンドS（適格機関投資家専用）	2.8%	2.2%
	マルチ・ストラテジー・ファンド（適格機関投資家専用）	1.3%	1.0%
	FOFs用米国株式LSファンドS（適格機関投資家専用）	3.2%	2.6%
	ノムラFOS用 日本株ベータヘッジ戦略ファンド（適格機関投資家専用）	2.1%	1.7%
	MA Hedge Fund Strategies Limited	1.1%	0.9%
	FOFs用コモディティLSアルファ・ファンドS（適格機関投資家専用）	1.1%	0.9%
ヘッジファンド （イベントリスク対応）	FOFs用MAN AHL ダイバーシファイド リンクファンドS（適格機関投資家専用）	1.3%	1.0%

※ 「安定型」とは元本保証を意味するものではなく、「成長型」と比較して安定的な運用をめざすファンドであることを意味しています。

※ 配分比率は、端数処理の関係で合計値が100%とならない場合があります。また、変化幅は端数処理の関係で数値が異なる場合があります。

※ 目標資産配分比率および投資対象ファンドの目標配分比率は2019年10月11日時点のものであり、適宜見直しをおこないます。

<当資料の取扱いに関する留意事項>を必ずお読みください。

スカイオーシャン・コアラップ°（安定型／成長型）

ファンドの投資リスク

＜基準価額の変動要因＞

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。
したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。

株価変動リスク、金利変動リスク、リートの価格変動リスク、MLPの価格変動リスク、商品(コモディティ)の価格変動リスク、金上場投信の価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、米国地方債に関する信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、資産等の選定・配分にかかるリスク、ヘッジファンドの運用手法にかかるリスク、仕組み債券にかかるリスク、ブローカーの信用リスク

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

＜その他の留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

ご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

申 込	申 込 締 切 時 間	原則として、販売会社の営業日の午後3時まで。	決 算 ・ 配 分	決 算 日	毎年7月10日（休業日の場合は翌営業日）
	購 入 ・ 換 金 申 込 受 付 不 可 日	申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けられないものとします。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドン証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ロンドンの銀行休業日		収 益 配 分	年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。収益分配金の受取方法により、「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」の2つの申込方法があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購 入 時	購 入 単 位	販売会社が定める単位。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。	そ の 他	信 託 期 間	無期限（2015年5月26日設定）
	購 入 価 額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額。 （基準価額は1万口当たりで表示しています。）		ス イ ッ チ ン グ	「スカイオーシャン・コアラップ」を構成する各ファンド間でスイッチングができます。スイッチングの方法等は、購入、換金の場合と同様です。 （販売会社によっては、スイッチングの取扱いをおこなわない場合があります。）
換 金 時	換 金 単 位	販売会社が定める単位。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。		課 税 関 係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度（NISA）および未成年者少額投資非課税制度（ジュニアNISA）の適用対象です。なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。
	換 金 価 額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額。			
	換 金 代 金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。			

ファンドの費用

お客さまが直接的にご負担いただく費用

購 入 時	購 入 時 手 数 料	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額に 3.3%（税抜3.0%）を上限 として販売会社が定める率を乗じて得た額。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換 金 時	信 託 財 産 留 保 額	ありません。

お客さまが信託財産で間接的にご負担いただく費用

保有期間中	運用管理費用（信託報酬）	
	当該ファンド（a）	純資産総額に対して 年率1.386%（税抜1.26%）
	投資対象とする 投資信託証券（b）	純資産総額に対して年率0.196%～0.512%程度（税込）
	実質的な負担 （a+b）	純資産総額に対して 年率1.582%～1.898%程度（税込） ※ この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組み入れ状況により変動します。なお、投資対象ファンドにより別途運用実績にもとづき計算される成功報酬額がかかる場合があります。
	その他の費用・手数料	
	有価証券の売買・保管、信託事務にかかる諸費用、投資対象ファンドの解約にともなう信託財産留保額等をその都度、監査費用、ファンドが実質的に投資対象とする仕組み債券の価格に反映される費用等を日々、ファンドが負担します（投資対象ファンドにおいて負担する場合を含みます。）。 これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。	

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。
また、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示しておりません。

委託会社およびファンドの関係法人

- 委託会社 スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社 〔ファンドの運用の指図〕
金融商品取引業者： 関東財務局長（金商）第2831号
加入協会： 一般社団法人投資信託協会
ホームページ： <http://www.soam.co.jp/>
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社 〔ファンドの財産の保管および管理〕
- 販売会社 〔募集・販売の取扱い、目論見書・運用報告書の交付等〕

商号等		加入協会	
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会
株式会社京都銀行	登録金融機関 ： 近畿財務局長（登金）第10号	○	○
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関 ： 関東財務局長（登金）第53号	○	○
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 ： 関東財務局長（金商）第2938号	○	
株式会社群馬銀行	登録金融機関 ： 関東財務局長（登金）第46号	○	○
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者 ： 関東財務局長（金商）第1977号	○	
株式会社東日本銀行	登録金融機関 ： 関東財務局長（登金）第52号	○	
株式会社横浜銀行	登録金融機関 ： 関東財務局長（登金）第36号	○	○

当資料の取扱いに関する留意事項

◆当資料はスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法にもとづく開示書類ではありません。◆ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。◆投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクをとまいます。）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。◆投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外で購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。◆当資料は信頼できると判断した各種情報等にもとづき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。◆当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータにもとづき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。◆当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

<当資料の取扱いに関する留意事項> を必ずお読みください。